

議事録

会議名称	長野県図書館協会・長野県図書館大会のあり方検討チーム 第6回ミーティング		
開催日時	令和8年(2026年)6月10日 10:00~12:20	開催場所/ 方式	参集(県立長野図書館3階信 州・学び創造ラボ)+WEB会議
出席者 (敬称略)	長野県図書館協会 依田会長、林副会長、棟田副会長、森理事長、山口小中学校 図書館部会長、岩渕公共図書館部会長*、武田佳代(大学図書館部会長指名 信 州大)、上田千紗*(長野県高等学校図書館協議会事務局長指名 諏訪二葉高)、 干川優*(県教育委員会事務局生涯学習課)、長谷川松実*(小中学校図書館部会 長指名 木祖村立木祖小) 文平玲子(公募 市立須坂図書館長)、米山美保(公 募 長野市立松ヶ丘小) (*印:WEB参加)		
ゴール(目的)	● 図書館協会指針※針改訂、新章立て(現行4~6章部分)及び各章執筆担当の決定 ※ 指針:『「長野県における図書館の現状と今後の方向」についての指針』 ● 研修委員会の設置案(メンバー、役割、スケジュール)の確定		
アジェンダ	1 図書館協会指針改訂に向けての検討 (1) 各部会進捗状況報告 (2) 新章立て(現行4~6章部分)の内容、担当 2 研修委員会について (1) メンバー (2) 役割 など 3 令和8年度ステップアップ研修について 4 図書館大会マニュアルの今後の取扱について		

決定事項/To do	
■決定事項 ● 図書館協会指針について、新章立て(現行4~6章部分)及び執筆担当を決定(一部保留) ● 研修委員会設置は本日検討した案を長野県図書館協会理事会及び総会へ諮る。	
■To do ● 次回ミーティングを令和8年10~11月頃実施(別途日程照会) ● (目標)各執筆担当は、次回までに指針のたたき台を作成	

【議事概要】

- 指針の改訂について
 - ・ 図書館協会の指針(『「長野県における図書館の現状と今後の方向」についての指針』)の改訂に向けて、各部会(小中、大学、公共)及び高等学校の進捗状況を共有し、今後の執筆担当や章立てについて協議。
 - ・ 小中学校図書館部会、大学専門図書館部会及び高等学校図書館協議会では、それぞれ改訂に向けた方向の検討や執筆作業などを進めており、現状データの更新や内容の再整理を行うことを検討している。
 - ・ 公共図書館部会では、現状や課題について館長会議等で意見交換を行い、今後の執筆体制を検討している。
 - ・ 新指針では「特別支援学校」を独立した項目として位置付ける方向で合意
 - ・ 特別支援学校の図書館環境について、現状と課題を整理し、今後の充実に向けた方向性などを改訂後の指針で示したい、とした。
 - ・ 「地域の課題解決」を大項目とする案については内容を見直し、課題解決型サービスや居場所・サードプレイスなどの内容は公共図書館の項目へ入れ込むこととし、これに替わる新たな大項目

議事録

として「関係機関との連携・協働」を設け、学校図書館と公共図書館の連携、書店や読書関係機関との連携、公民館や MLA 連携などを扱う方向で整理した。

- ・ 図書館の「居場所」としての役割については、学校図書館・公共図書館それぞれの章で触れ、館種を超えた事例はコラム等で紹介する案が出された。
- ・ 地域で行われている優れた読書活動や市民活動、文庫活動等については、コラム形式で紹介することを検討。
- ・ 特別支援学校については、入手可能な範囲で資料収集を進め、それをもとに執筆。
- ・ 学校図書館と公共図書館の連携、書店や読書関係機関との連携などについて担当者を整理し、執筆を進めることとした。
- ・ ボランティア活動については、公共図書館・学校図書館それぞれの章で触れる。
- ・ 「持続可能な図書館のあり方」「デジタル化への対応強化」などの項目は、担当者を含め引き続き検討。
- ・ 指針原稿については、各担当者が執筆を進め、次回会議までにたたき台を作成することを目途とした。
- ・ 公共図書館分野は国の「望ましい基準」改定と並行して進むため、スケジュールが厳しい状況。
- ・ 現行指針の「学校等への支援」という表現は、「連携」へ改める。
- 研修委員会について
 - ・ 図書館協会内に「研修委員会」を新設する案を確認し、総会で承認されれば設置に向けて進めることとした。
 - ・ 今年度のステップアップ研修については、各地域から提案された研修を柔軟に実施していく方向で了承。研修のあり方については、今後研修委員会が立ち上がれば、同委員会にて検討することとした。
- 図書館大会マニュアルについて
 - ・ 図書館大会マニュアルについては、共同編集を継続（6月23日まで）しながら総会提出に向けて修正を進める。

（了）